

丸山議員

勝山市の防災マニュアルの確認について

問 9月1日は「防災の日」で、勝山市においても教育会館で研修会が開催された。気象庁は、従来の「注意報」「警報」に「特別警報」を加え、マスメディアや自治体を通して、さらにウェブサイトにも掲載するなど地域住民に確実に伝えるとしている。勝山市は、大雪以外は極めて災害が起こりにくい地域だが、災害に対する具体的な対応策や避難方法等について伺う。また、ソーシャルメディアの情報発信も有効だと思われるが、合わせて見解を伺う。

答 警報が発令されると、関係職員が昼夜を問わず参集し警戒体制にあたり、情報収集と土のうの準備など予想される事案などの対応を行っている。今後、具体的な災害を想定した情報伝達訓練、自主防災組織を中心とした避難訓練等を行い、地域の安全・安心を高めていく。

ソーシャルメディア・ネットワークを用いた情報発信については、現在、若手職員グループにおいて、メリット・デメリット等の検証を行っている。

その他の質問

・勝山市のトンネル及び橋梁の強度と点検について
・地震に備えるための住宅の耐震改修について

河川環境を守るための方策とは

問 勝山市の各小中学校では、環境保全推進コーディネーターの前園先生の指導の下、河川の清掃に取り組んでいる。しかし捨てられているのは明らかに大人が捨てたと思われるごみなどで、大人のモラルが一向に良くならない。また勝山橋の下ではバーベキューの後始末が出来ていないなど、見回りや取り締まり等、何らかの対応策が必要と思われるが、環境問題に力を入れていく勝山市としての対応策を伺う。

答 昔からごみを川に捨てていた悪しき習慣の根絶は容易でないと考えている。そのために「かつやまをきれいにする運動」を徹底し啓発していきたいと考えている。



九頭竜川

下道議員

教育現場の多忙化について

問 昨今、福井県は小中学生の全国学力テストで毎年上位をとっている。これは三世帯同居の割合が多く、祖父母がしつけや勉強の面でサポートをしているという事や、児童生徒の素直さとまじめさ、早寝早起き、新聞をよく読むということが理由に挙げられている。

答 当然、先生方の計画的で熱心な学習指導も大きいと思われるが、そのかたわら教育現場の多忙化が問題視されてきている。研修参加・各種の調査報告などの仕事が増え、子どもたちと向き合う時間が減り、独創性を出す授業もできないという声が出ていると聞く。そのため、市から県へ精査するように提言することが必要だと思うが、教育委員会の考えを伺う。

答 市では、県から要請のある調査や提出文書の期限を、余裕を持って提出できるように要望するとともに、小規模校の出張数についても改善されてきている。

今後、業務の効率化や省力化に努め、少しでも教員の多忙感を小さくしていけるよう努めていく中で、子どもたちの生きる力の3

その他の質問

・体育に武道を必修化したことによる事故について
・次期都市再生整備計画事業（3期5カ年計画）について

給食室へのエアコン設置について

問 平成24年に市内の中学校の普通教室にエアコンが設置され、小学校では、平成24年と27年の4年で設置予定と伺っている。

しかし、近頃の猛暑による子どもたちの「食」の安全面から、給食室や1年生から6年生までそろって食べるランチルームにもエアコンは必要と思うが、市の考えを伺う。

答 エアコンの設置は、児童生徒の学習環境の改善を目的に、普通教室への設置を優先したもので、給食調理室やランチルームへの設置については、まだ具体的な計画を立てていない状況。今後、食品衛生上・給食調理師の健康面などから検討していきたい。



ランチルーム